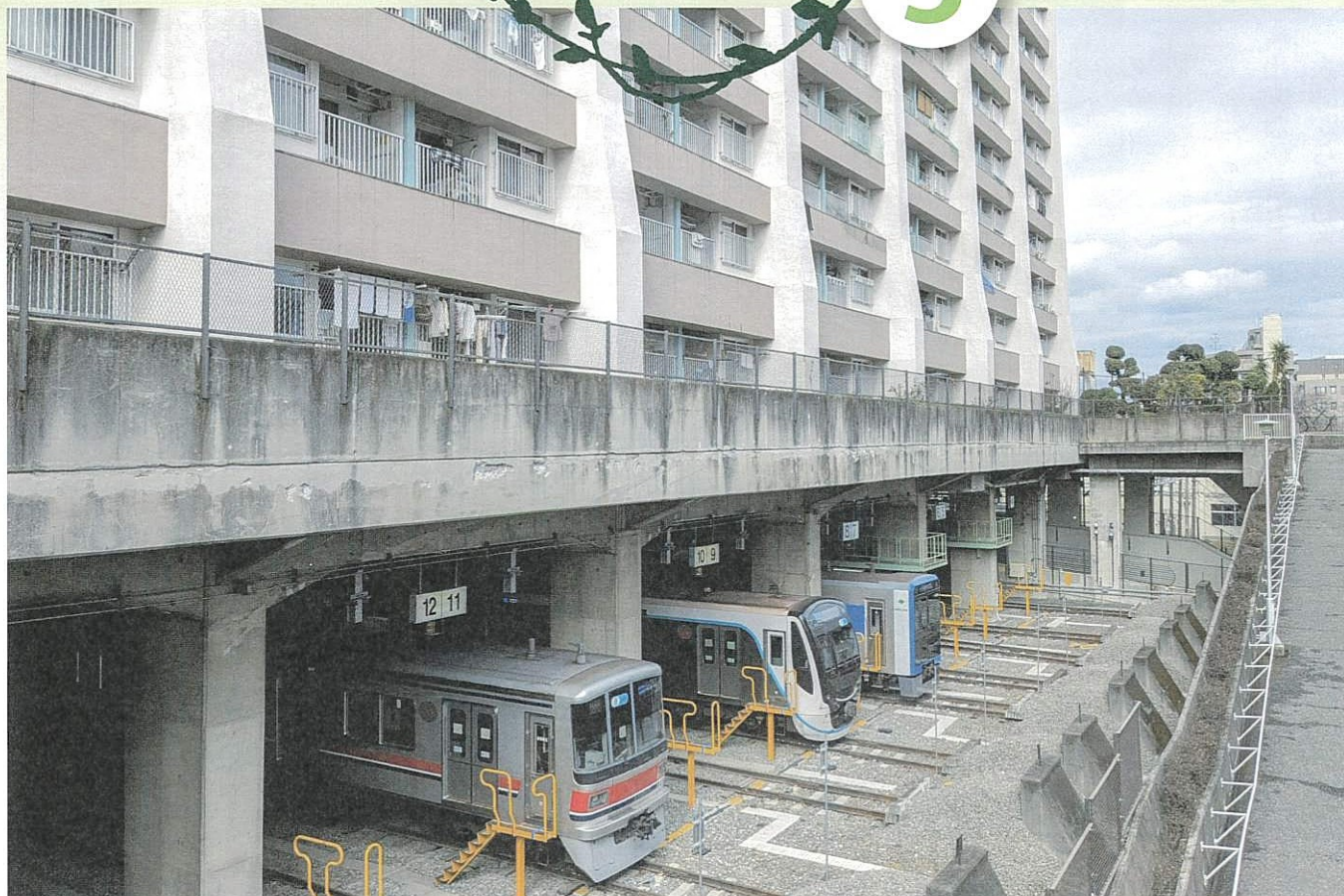


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
 発行人 山崎 哲
 編集長 仲井 真裕
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
 願いに生きる人となる



志村車両検修場の上の建つ都営西台アパート

西徳寺の予定 3月

- 4日(水) 午前10時 仏具磨き
 8日(日) 午後2時半 城北ブロック会間法会
 場所:王子 北とびあ
 11日(水) 午後1時半 婦人会間法会
 14日(土) 午後2時 定例間法会
 17日(火)~23日(月) 春季彼岸会
 22日(日) 春季永代経法要
 聖徳太子奉讃会
 本山差向布教
 布教使: 泉 教順師
 28日(土) 午後5時15分 同行会修習式
 法話: 仲井 真裕

4月

- 11日(土) 午後5時半 同行会総会「和讃」に学ぶ
 法話: 蓮井 邦宗
 15日(水) 午前11時 婦人会総会
 18日(土) 午後2時 定例間法会
 19日(日) 午後2時半 評議員会総会
 26日(日) 午後2時半 中央ブロック会総会・間法会
 場所: 西徳寺



※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

3月の山門の言葉

しかい けいてい
四海の内みな兄弟とするなり

どんらんだいし
曇鸞大師『浄土論註』



私が小学生の時、教室で飼っていた動物が死んでしまった。一同悲しみに包まれる中、お葬式をしようという提案が出された。そして「寺生まれだし、高橋にお経を読んで欲しい」という流れに。私はというと、祖母が毎日夕方に勤める「正信偈」しか知らず、まして一人で読んだことは無い。だからお葬式なんて出来ないと言えど、「なんでだよ、坊さんだろう」と責められた。仕方なく渋々、冷汗をかきながら同級生が見守る中、一人で「正信偈」を勤めたのであった。亡骸を埋めた校庭でしんみりとした雰囲気になったが、それでも心の中では、なぜ寺に生まれてしまったのか、普通の家に生まれたかったと感じた。

悩みとは、私自身に原因があるものと、そうでないものがある。と教えられる。寺生まれを恨んだ私であったが、ご門徒の方とお話してみると、皆それぞれ解決のできない家庭事情を抱えていることに気づかされる。私だけ悩んでいるのではなかったのだ。

今も昔も家柄や生まれた地域など、自分ではどうしようもないことで比較され、差別されている。傍から見れば恵まれている人も、当人は悩みの中にいる。阿弥陀仏から見れば、どんな人も悩みを抱えている。それで曇鸞大師は私たちのことを兄弟と説かれた。

当時の私は、自分のことしか考えていなかった。しかし今にして思えば、同級生たちも悲しくて仕方がなかったのだ。申いたい、でもどうしていいかわからない。それで私に頼んだのであろう。決して悲しみは癒えないけれども、私にも少しは出来ることがある。同時に彼らでないと出来ないこともあるに違いない。そうした気づきを曇鸞大師から教わるのである。

(高橋淳記)

顧問のカレンダーに聞く

一人の人生であら

決して

独りではなかった

如来の法、念仏のすくい、あらゆる人が対象であります。あらゆる人とは賢愚・老少を問いません。独りは孤独の世界であります。一人ひとりが全てすぐわれる教えに出遇った時、そこに共にすぐられる同朋・同行のすがたが見えてくるのです。カレンダーの言葉縁として、我が身をいただく機会をいただきました。ありがとうございます。

「ご好評いただいておりました「顧問のカレンダー」は今号、今年度末をもって最終回とさせていただきます。ご愛読いただき、ありがとうございます。」(発行人・編集長)



Though it is your life and you may have felt lonely, you come to realize that you were not alone.



いまさら聞けないお寺のこと

とき
「お斎」



仏事の際、故人を偲び、供養するための食事として、「お斎」という言葉があります。平安から鎌倉時代にかけては、亡くなった人の霊を慰めるための法要で参列者に振る舞う食事としての意味で使われていました。現代においては、法要後、親族や知人との交流の機会として、また、故人の思い出を語り合う時間として大切にされています。親戚の方と顔を合わす機会が減っている今だからこそ、ご法要の後のお斎をされてはいかがでしょうか。

お斎に関しては諸説ありますが、形式にこだわらず、皆様でお食事していただくことが一番ではないかなと思います。

西徳寺でもお斎の席をご用意することができます。詳細は西徳寺のHPでもご覧いただけます。お気軽にお寺にご相談ください。



西徳寺本堂令和大改修 ご寄付現状報告

昨年5月に、西徳寺ご門徒様に本堂大改修の「勸進趣意書」を送付させていただきました。以来、多くの方々より既にご尽力を賜っておりますこと切に感謝申し上げます。また瓦懇志におきましては、ご門徒の枠を越え、地域の方々や、歌舞伎：中村勘九郎七之助後援会の方々からお力添えを賜っておりますこと、この場を借りて御礼申し上げます。

新年度に向け、以下寄付現状報告をさせていただきます。

【ご門徒寄付】

目標額 240,000,000 円 寄付金額 169,380,000 円 残り 72,500,000 円

【瓦懇志】

目標額 50,000,000 円 寄付金額 15,400,000 円 残り 34,600,000 円

【合計】

目標額 290,000,000 円 寄付金額 184,780,000 円 残り 107,100,000 円

本堂改修工事総額費用約6億円（令和8年2月14日現在）

以上、いまだ厳しい状況にございます。さらに輪を広げ、引き続き多くの方々のご協力を賜りたく存じます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

西徳寺住職 山崎 哲 拝

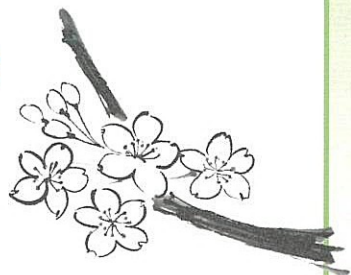
春季永代経法要のご案内

西徳寺では聖徳太子の月命日に合わせ、春季永代経法要・聖徳太子奉讃会を勤修いたします。また本山より布教使をお迎えし、このご縁に南無阿弥陀仏のみ教えを皆様と共に聴聞させていただきたいと存じます。

●春季永代経法要・聖徳太子奉讃会・本山差向布教

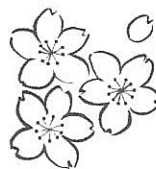
日時：令和8年3月22日（日）

午前10時～	聖徳太子奉讃会・法話
午前11時半～12時	混声合唱団「エコー」演奏
正午	おとき（昼食）
午後1時半	春季永代経法要・法話



●布教使紹介

ひのて
梶 教順 布教使
ぶつげんじ
滋賀県野洲市 佛眼寺住職



※永代経法要に参詣された方に昼食をご用意させていただきます。ご希望の方は**3月14日（土）までに同封のハガキまたはお電話にて**お申し込み下さい。

（TEL：03-3875-3351）

なお、恐縮ではございますが、法要執行のため、ご懇志をお納めいただきたく存じます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



梶 教順 師

西徳寺の石材店について

長らく西徳寺の墓石を始めとする石材について、墨田区の阿部石材店に依頼しておりました。しかし阿部石材店の阿部豊さんが、2年前に体調を崩され、残念ながら昨年12月にお亡くなりになられました。阿部石材店さんには大変お世話になりました。この場をお借りしてお悔やみ申し上げます。ありがとうございました。

現在は2年前に阿部さんに紹介いただいた、足立区にある永瀬石材店に、墓石等の仕事をお願いしておりますので、改めて紹介させていただきます。

墓石等のご相談がありましたら、西徳寺までお問合せください。



永瀬石材店のお2人

城東ブロック会聞法会

今回は「ネットで出かけていく聞法会」というコンセプトで、西徳寺にてビデオ会議アプリ「ZOOM」を併用しての開催となりました。聞法会の内容は今回も二河白道を取り上げ、大谷最高顧問からは「私のいのちは阿弥陀仏による願いの中にある、深い願いの中にある」とお話いただきました。

次回は6月28日(日)
亀戸文化センターの予定です。

担当：高橋 淳 記



城南ブロック会聞法会

2月8日、横浜関内に於いて第114回聞法会を開催いたしました。会員14名のご参加をいただき、『「水の河」と「火の河」の話』をテーマに皆様と学ばせていただきました。今回、山崎住職にお話をいただきました。

自分で勝手に作った地図で歩いているのが私たちである。何かをあてにして、何かに裏切られたと思い、何かに腹を立てるような私の心というのは、死ぬまで消えることはない。そんな私たちのためにあるのがお念仏の道であり、どんな中でも、人生をまっとうさせるという阿弥陀仏の誓いがそこにあるのだと教えられました。

次回は、5月10日(日)。大井町のきゅりあんに於いて、聞法会を開催する予定です。ご参加をお待ちしております。

担当：大谷 隆 記

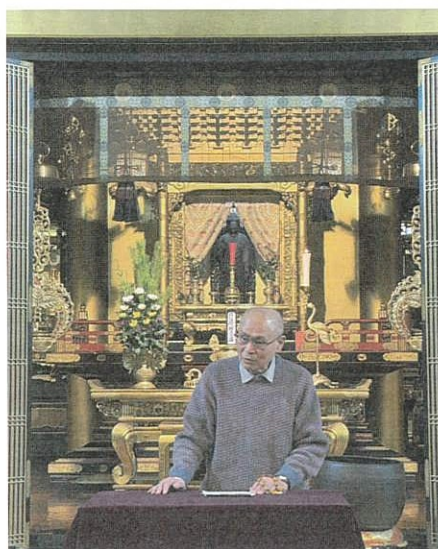
同行会新年会

去る1月24日(土)同行会新年会を開催しました。

本堂にてお勤めの後、石井会長と山崎住職よりご挨拶を頂き、その後場所を移し懇親会を行いました。あっという間にお開きの時間になるほど話が尽きず、大変賑やかな時間を過ごせました。

今は『和讃に学ぶ』というテキストに学んでいます。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください。本年もよろしくお願いいたします。

担当：大橋 伊知郎 記



石井会長

墓地管理料・維持会費納入のお願い

平素より、門信徒の皆様には当寺の護持発展に格別のご尽力を賜り、誠にありがとうございます。皆様の物心両面にわたるお力添えにより、墓地ならびに本堂・諸施設の維持管理がなされておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、次年度も引き続き、当寺の護持ならびに環境整備のため、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

つきましては、下記のとおり墓地管理料および維持会費のご納入をお願い申し上げます。

【墓地管理料(年間)】 15,000円(西徳寺にお墓のある方)

【維持会費(年間)】 1口5,000円～(全門信徒の皆様)

※よろしければ同封の振込用紙をご利用ください。

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

- 文京区 官林 以智子 様
- 千葉県 塚本 正人 様
- 滋賀県 藤井 了義 様
- 滋賀県 木村 浩子 様
- 埼玉県 隠岐 弘子 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

2月の中旬、本山佛光寺での朝の法話、お茶所布教の役目を5日間勤めてきました。念仏の教えについて、迷い、悩みながらお話し、皆様に温かくご聴聞いただきました。

関西に長く住んでいた私。京都におりますと学生時代の友人から誘いがあり、二日酔いになりながら法話を考える、そんな5日間でした。

同級生とお酒を飲みながら口を揃えて出るのは、「お互いに年を取ったな」。そして様々な価値観が20年前と大きく変わったということが、話の中心になりました。子どもがいる友人もいたので、未来・教育についても話をしましたが、今現在の価値観で教育をしても、20年後には世の中が大きく変わっているでしょう。せいぜい80年の生涯で、正しい答えが出ると思っている、そういう人間の愚かさを感じるご縁でした。

(編集長 仲井 真裕)



本山お茶所の方からバレンタインのチョコをいただきました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook